

JR西日本の地域共生の取組み

～せとうちパレットプロジェクトを中心に～



西日本旅客鉄道株式会社

2026.2.24

目次

01 | JR西日本の概要

02 | JR西日本が目指す、地域共生の進め方

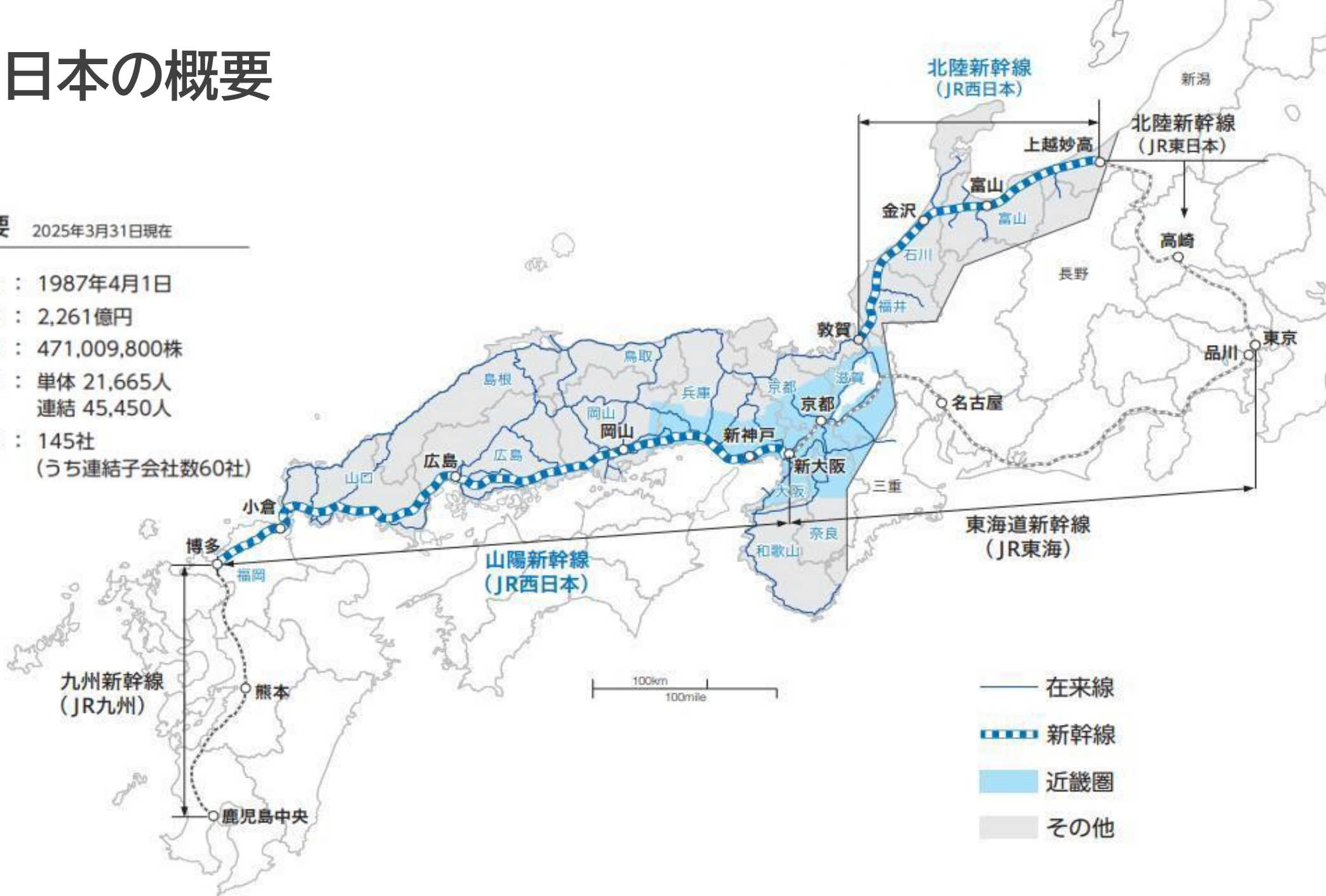
03 | せとうちパレットプロジェクト

01 | JR西日本・概要

JR西日本の概要

会社概要 2025年3月31日現在

- 設立：1987年4月1日
- 資本金：2,261億円
- 発行済株式数：471,009,800株
- 従業員数：単体 21,665人
連結 45,450人
- 子会社数：145社
(うち連結子会社数60社)



JR西日本・中長期の経営課題

本計画策定にあたって

課題認識と経営戦略の方向性

これまでの取り組みを着実に継続・推進するとともに、激変する経営環境を踏まえた経営課題にも対応

激変する経営環境

人口減少・少子高齢化

社会行動変容

デジタル化の加速

円安・物価高騰

困難な人財確保

気候変動問題

等

対応すべき経営課題

- 福知山線列車事故で被害に遭われた方々への真摯な対応
- 鉄道事業の安全、安心に向けた弛まぬ努力と信頼構築
- 基幹となる鉄道事業の活性化とグループシナジーを発揮した主要事業の成長
- 最適な事業ポートフォリオの構築と継続的な構造改革
- 事業活動を通じた社会課題の解決、社会的価値と経済的価値の創出
- 人財の確保・育成と、イノベーションを通じた変化対応・創出力の向上

- ・ 未来社会においても価値を創造し続ける企業グループとなるために、当社グループの存在意義を見つめ直し、目指す姿である「私たちの志」を策定
- ・ その上で、10年後を見据えた長期ビジョン、その第一ステップとしての2025年までの中期経営計画を策定

JR西日本・長期ビジョン

私たちの志と長期ビジョン

長期ビジョン2032

私たちの志の実現と10年後（2032年）のありたい姿

私たちの志

人、まち、社会の
つながりを進化させ

心を動かす

未来を動かす

長期ビジョン2032

4つのビジョン

安全、安心で、人と地球にやさしい交通

人々が行きかう、いきいきとしたまち

一人ひとりにやさしく便利で豊かなくらし

持続可能な社会

実現したい未来

交通全体がシームレスなサービスとして
認識され、定着している未来

地域の魅力が高まり
定住・交流・関係人口が増加していく未来

リアルの良さとデジタルの組み合わせで
個客体験が大きく高まる未来

様々なパートナーとの連携を通じて
持続可能な社会システムが構築されている未来

JR西日本・実現したい未来

私たちの志と長期ビジョン

実現したい未来

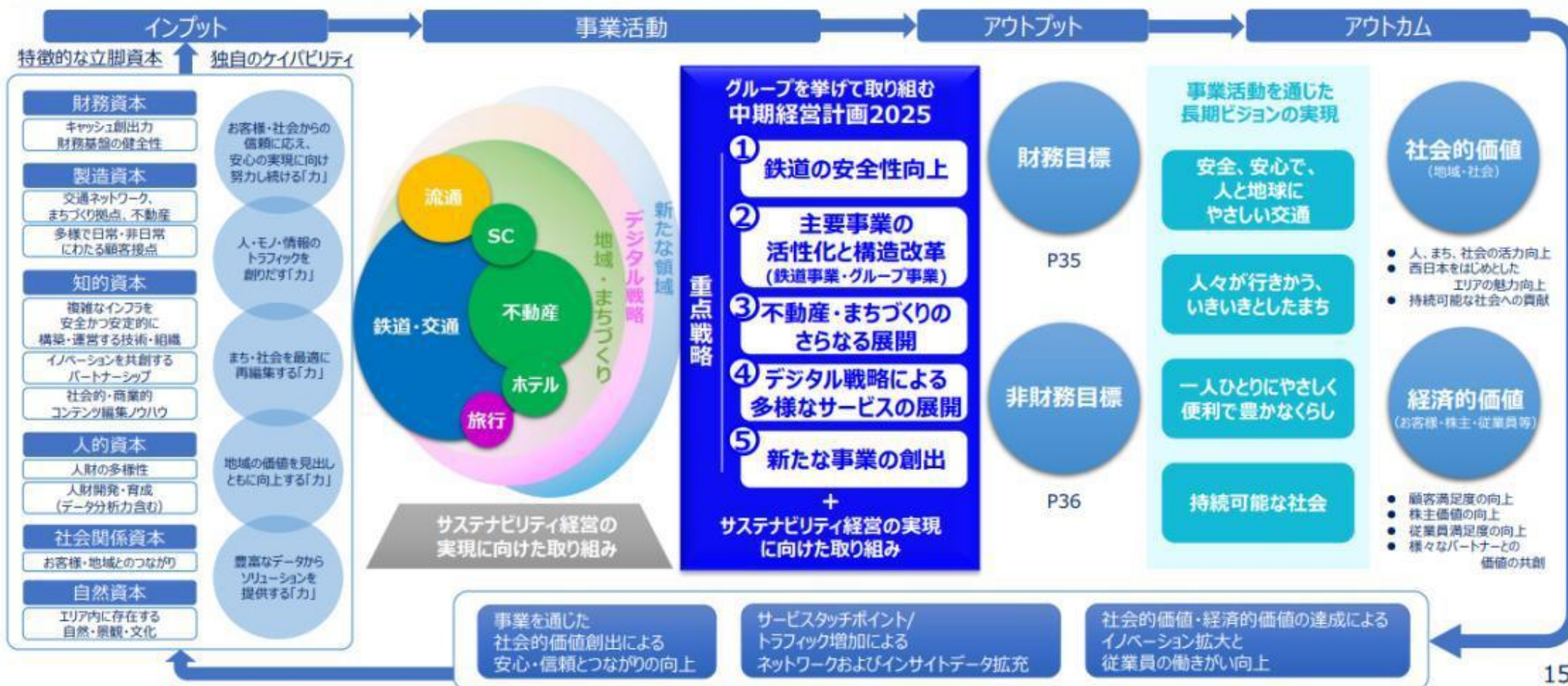


JR西日本・価値創造モデル

私たちの志と長期ビジョン

長期ビジョン実現に向けた価値創造モデル

私たちの志 人、まち、社会のつながりを進化させ、心を動かす。未来を動かす。



02 | JR西日本が目指す、地域共生の進め方

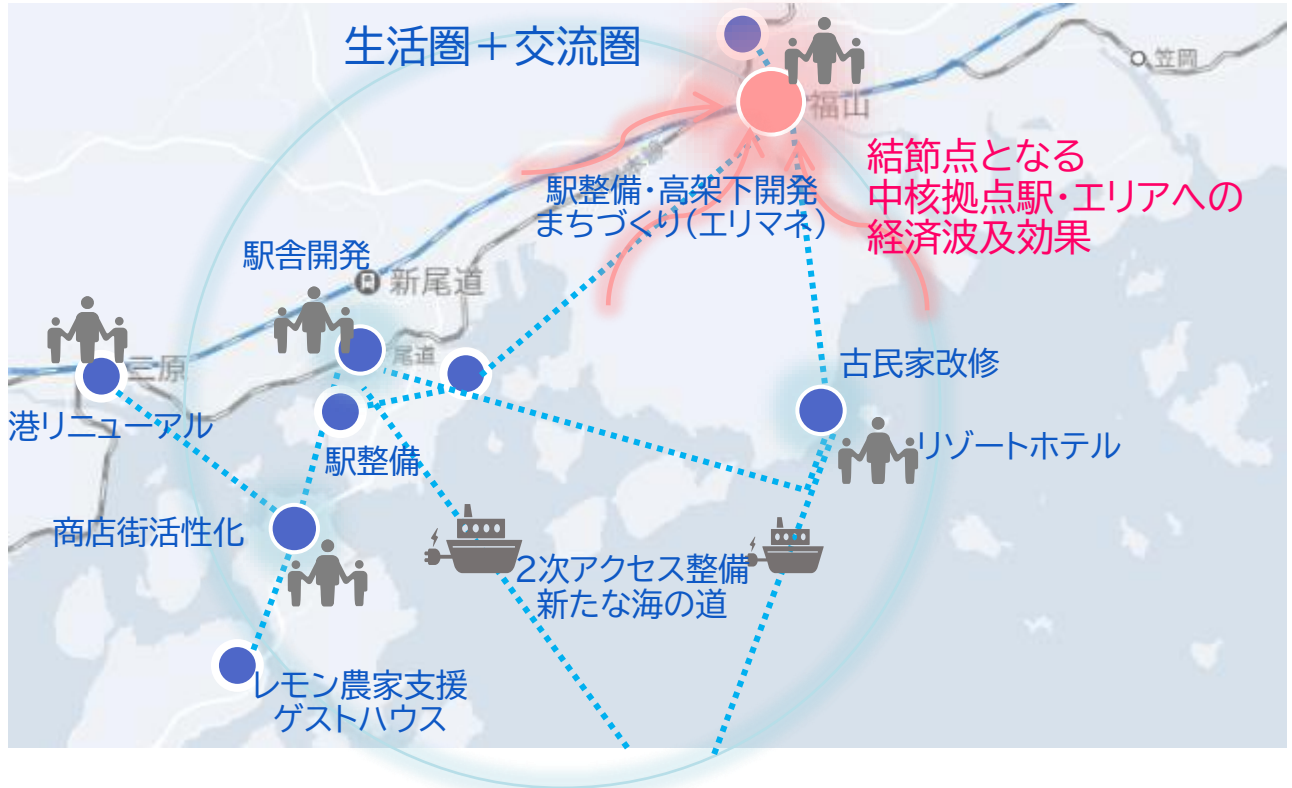
地域活性化に向けた考え方

これまで 観光誘致キャンペーンが中心

自社グループを中心とした取組み



地域や企業との“共創”による、長期的な”面”での取組み (コンパクト+ネットワーク)



- 地域の“人”を主体に中核エリアを“面”で捉え、当社は地域づくりを加速する「支援者」の役割を担う。
- エリア内に多くのコミュニティ組成を目指し、人財プロジェクト等で繋がる“キーパーソン”を核に好循環モデルを目指す。

地域が活性化している状態とは

住んでいる人が、“豊かで幸せな暮らし”が出来ている状態。

- ① キーパーソンが地域内・地域外を“つなぎ”、地域コミュニティが形成されている。
- ② 地域の人による新しいプロジェクトが創出されている。
- ③ 地域プロジェクトにより、お金の流れ(投資)が発生している。

地域が活性化している状態

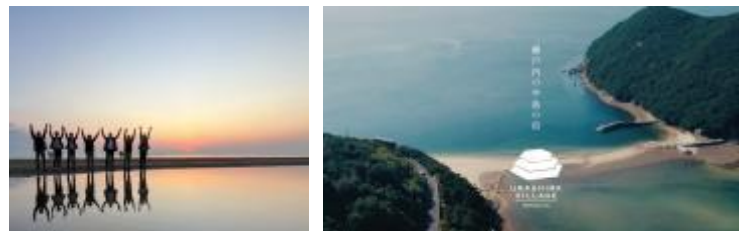
※国交省地域生活圏より

1. 地域の基盤となるコミュニティの活性化
 - ・ 住民同士の協力、地域イベント
 - ・ 地域プロジェクトの創出(投資)
2. 生活基盤の維持
 - ・ 医療、教育、交通、買い物
3. 多様な雇用機会
 - ・ 活発な地域産業
 - ・ 新しいビジネスが創生される環境
4. 定住・移住による人口維持
 - ・ 若い世代の定住
 - ・ 関係人口～移住へ
 - ・ 観光客増加

キーパーソン中心にコミュニティが形成され、投資が発生している地域

三豊@香川県

キーパーソン:古田秘馬さん、今川宗一郎さん
100プロジェクト以上創出 投資額:30億円～
観光客 100倍(2016年▶2022年)
移住者 300名以上、年間視察100本以上

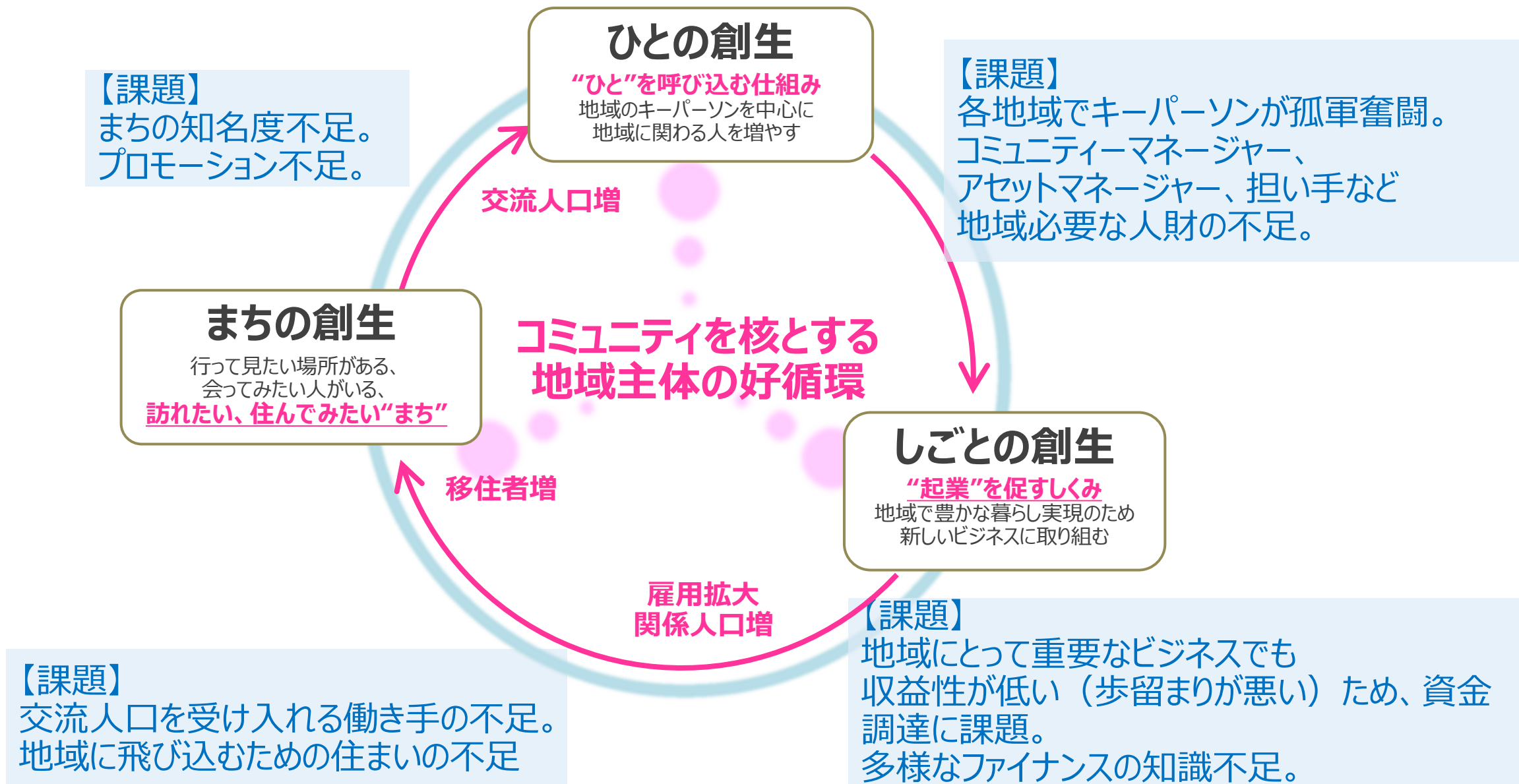


西粟倉@岡山県

キーパーソン:エーゼログループ(牧社長)
10プロジェクト以上創出:複合施設開発
移住者 270名以上・・・移住者に提供可能な空き家ナシ
年間視察:70本以上(Panasonic、YAMAHA研修)

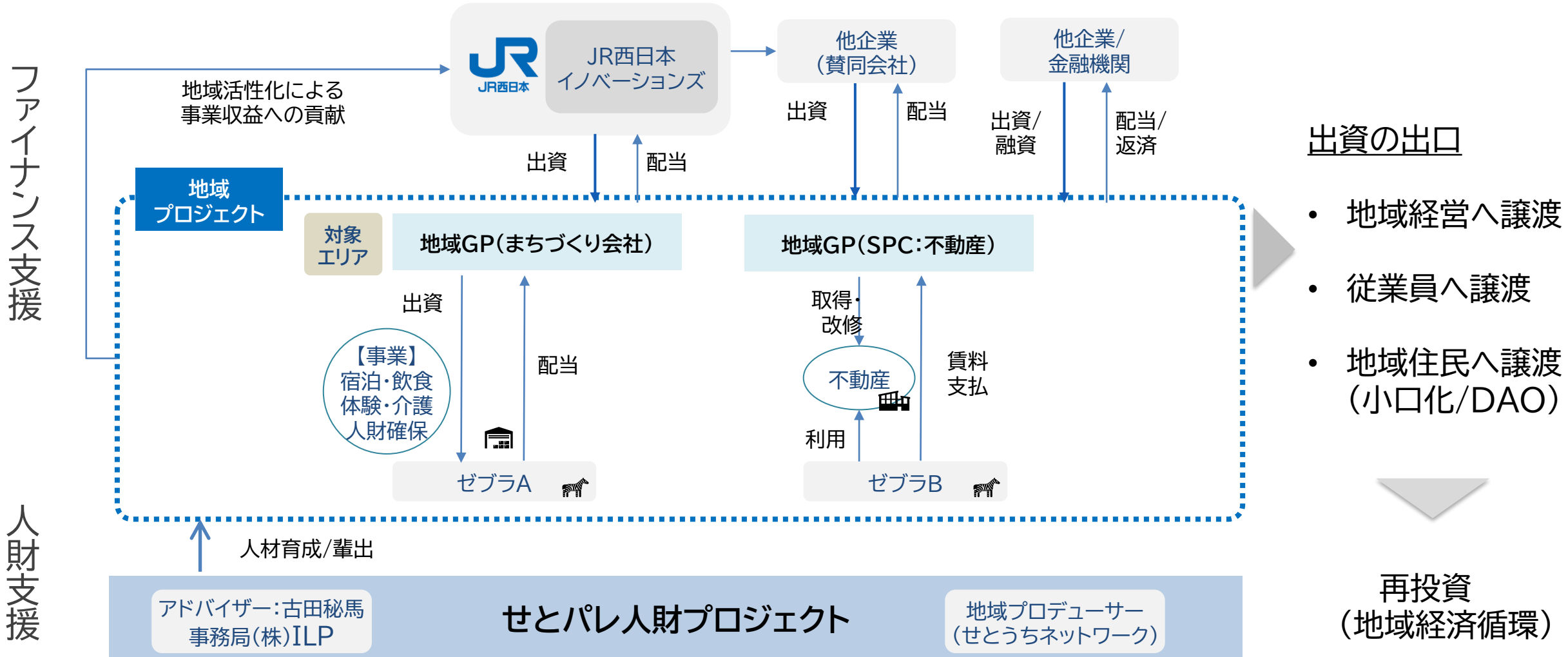


地域活性化の好循環モデルと地域課題



JR西日本が目指す地域共生事業への貢献モデル

地域の“人”が主体に推進するプロジェクトを
“ファイナンス”“人財”両面での中間支援の役割を担い、地域活性化に貢献



インパクトファイナンス(好循環モデル)としての関連

せとパレで連携した三豊の「ローカルIPO※」を官民ファイナンスによる地域活性の共創モデル化

※ローカルIPO

- 地域の事業者(百年企業)が資金を出し合って開始した宿泊事業を「不動産の小口化(不動産特定共同事業法)」を利用し、JR西日本、JAL及び地域住民に売却したもの。
- 地域事業者は、その資金で事業投資(介護/フレイル目的)。今回は宿泊事業は物件をリースバックし、事業者が継続運営

4-(2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス ～ブレンデッドファイナンスについて～



当社の役割

三豊@香川県

キーパーソン：古田秘馬さん、今川宗一郎さん
100プロジェクト以上創出 投資額：30億円～
観光客 100倍 (2016年▶2022年)
移住者 300名以上、年間視察100本以上



ローカルIPOの物件
URASHIMA VILLAGE

まとめ | 当社が目指す地域共生

1. 地域の衰退を防ぎ持続可能な地域を目指し、長期目線で取組みを推進

- 本業である鉄道事業との関りを含めて推進していきたい。

2. 地域の賑わいには、コーディネートするプロデューサーと地域のキーパーソンが牽引し、地域の方々と共創することが重要

3. 当社単独では不可能であり、企業連合、地域プロデューサーや、地域キーパーソン、プレイヤーのつながり、知見の結合が必要

4. 知見の結合には、人財のネットワーク化、仕組み化が必要

- 人財プロジェクトを推進(せとパレ人財プロジェクト)

5. ファイナンスの仕組みも重要

- 当社の立ち位置は「信用力増強」、入口と出口の設計が重要。
- 入口:地域のGPとの連携、成長・継続・支える分野のセットと伴走ストーリーの構築。
- 出口:MBO、EBO、DAOなどの仕組みにより、地域経済へ循環

03 | せとうちパレットプロジェクト

せとうちパレットプロジェクト

せとうちパレットプロジェクトは、2018年からJR西日本グループのプロジェクトとして開始。コロナ禍を経て、交流人口をフックに地域の磨き上げ、地域づくりに挑戦。“住んでよし、訪れてよし”の「世界のせとうち」を目指し、地域や企業の皆様と連携して取組みを推進します。

観光高速船 SEA SPICA
広島港～尾道港



JR PREMIUM SELECT SETOUCHI



観光列車



せとうちパレットプロジェクト



みんなで描く、せとうちの未来

海と島々が織りなす、美しい景色。

おだやかな気候や風土で育まれた人々の暮らし。

せとうちを、もっと世界に知ってほしい。

何度でも訪れたいエリアにしたい。

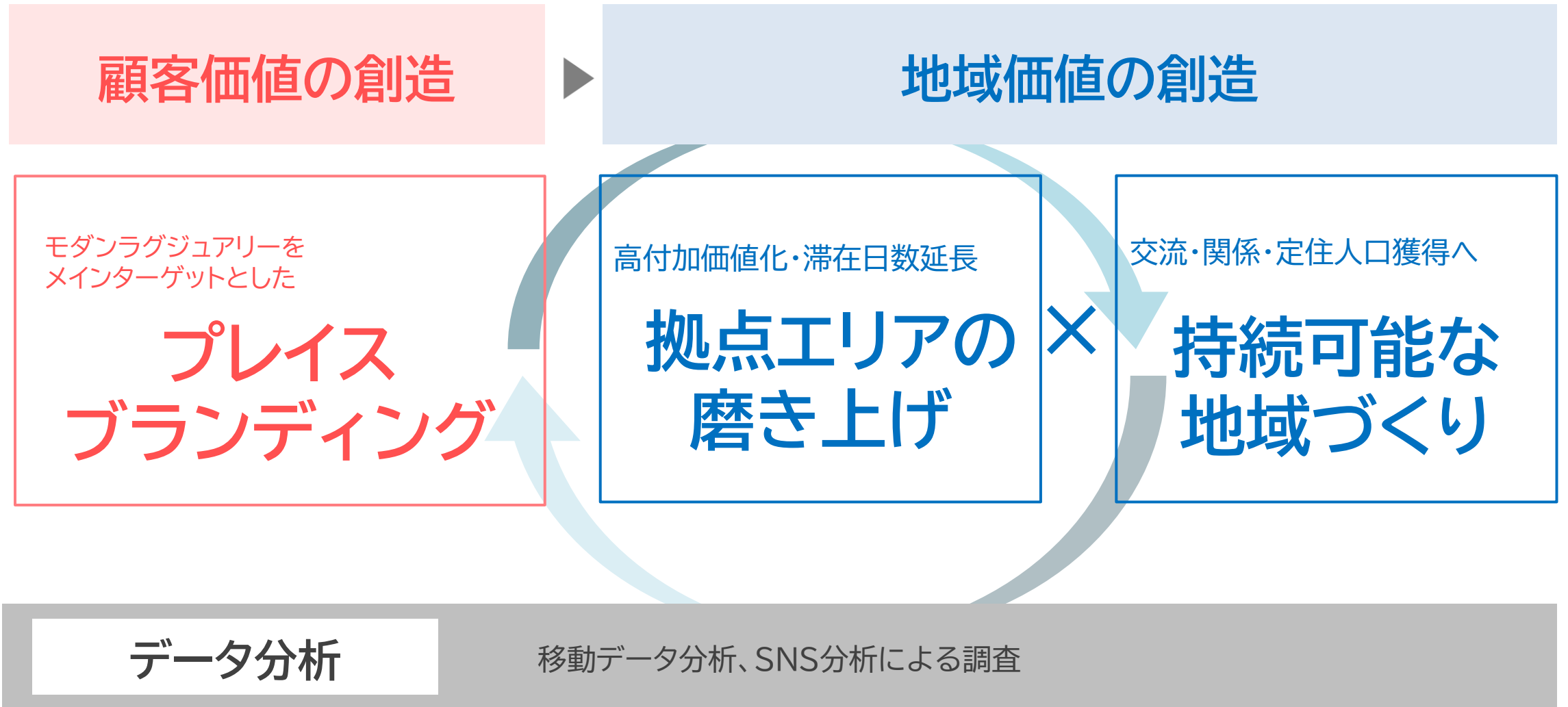
そしてこれからも、この豊かな暮らしを守りたい。

世界に誇る、魅力あふれるせとうちへ。

たくさんの人たちと

より良い未来を描いていくプロジェクトです。

せとうちパレットプロジェクト・取り組み方針



せとうちパレットプロジェクト・取り組み方針

1 せとうちエリア活性化に向けた長期戦略

- 目指す姿 : 世界に誇る「住んでよし、訪れてよし」のエリアとして未来へつなぐ。
- 価値の源泉 : せとうちの自然・歴史・文化と人々の豊かな暮らしは、訪日客に有効な体験価値を提供できる。
- 成長可能性 : 現在の訪問率は低いが、その主因は「認知不足」であり、今後の拡大余地は大きい。
- 共創の重要性 : 人口減少局面において、「面」としての地域コミュニティ・交流圏の構築が不可欠である。
- JR西の役割 : モビリティと生活サービスの強みを活かしつつ、キーパーソンとの連携強化、地域プロジェクトへの伴走・支援を通じ、地域の好循環を目指す。

2 顧客価値の創造

- ターゲット : 自然・文化への関心が高い海外のMLT層(モダンラグジュアリー)を重点ターゲットに設定。
- 戦略 : サフランと構築したブランド戦略・デザインをもとに、有力サイトやSNSを駆使して認知拡大を図り、せとうちブランドを確立する。

3 地域価値の創造

- 地域活性化の核はコミュニティ形成
- 人財プロジェクト:地域主体の豊かな暮らしを実現するためには、プロジェクトを牽引するキーパーソンが必須。
- ファイナンス支援:地域プロジェクトを機動的に支援する仕組みを構築。
- 地域づくり : 外部との共創を通じて、地域の関係強化、知見の獲得、および社内人財育成も図る。

せとうちパレットプロジェクト・プレイスブランディング

世界的なブランディング会社、**サフラン・ブランド・コンサルタンツ**との協働により、海外訪日客起点で、せとうちエリアのブランディング(約束する体験価値)を策定

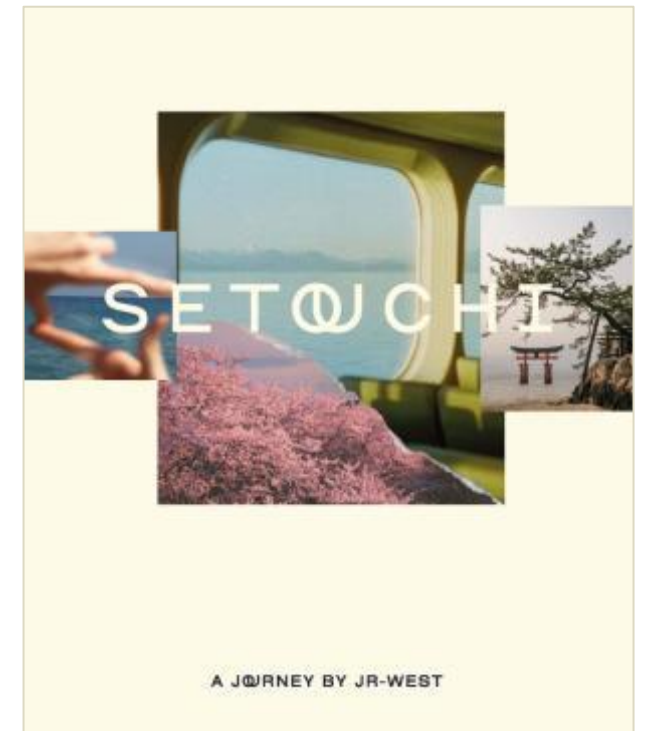
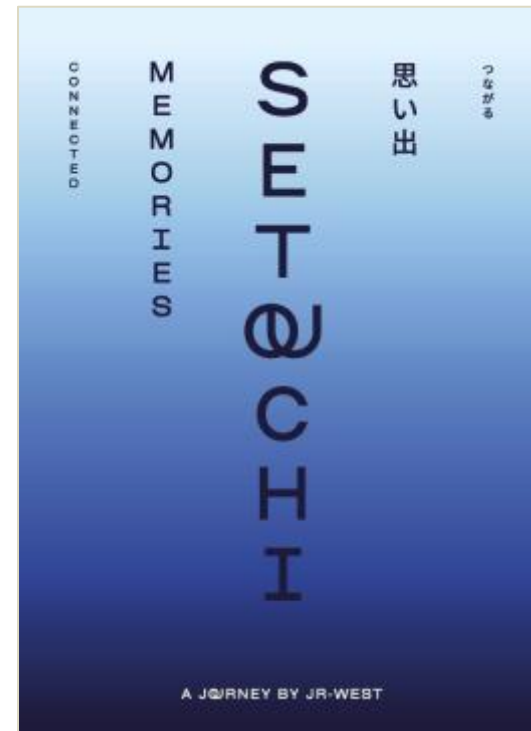
ブランドプラットフォーム

PROMISE (約束)

**Where the extraordinary
hides in plain sight.**

ふとした瞬間に「特別」が顔を出す場所

海外向けブランドデザイン



せとうちパレットプロジェクト・認知拡大



“せとうち”特集ページの制作



Beyond the island, step into the **Simose Art Museum**, where light-filled spaces and striking architecture frame a collection that is an experience within itself. Meanwhile, **Takehara Townscape Preservation District**, the streets are at their quietest in the early evening, when the lanterns flicker on. It's worth timing your visit to catch that shift.

Access to Hiroshima

From Tokyo, the Tokaido/Sanyo Shinkansen (bullet train) takes about 4 hours by Nozomi train. From Shin-Osaka, the Sanyo Shinkansen takes about 1.5 hours by Nozomi or Mizuno train.



[Why the Setouchi region should be on your next Japan itinerary - Tripadvisor](#)



モデルコース動画・記事を発信



在日外国人インフルエンサーを活用し、SNSで情報発信



せとうちパレットプロジェクト・人財プロジェクト

地域が持続していくには、教育・医療・観光等、暮らしを支える「産業」が不可欠
一方、特にローカルエリアで、人口減少による担い手不足・事業資金調達の難しさが顕在化

人財プロジェクト

- 新しい担い手を地域内部から育てる
- 企業など地域外からの関わり手をつくる
- 事業自体を持続可能な形にプロデュースする

ファイナンス支援

- 地域プロジェクトの創出支援
- エリア内のキラークンテンツ事業への参画
を目指してファイナンス支援が可能な体制を構築予定



せとうちパレットプロジェクト・人財プロジェクト

地域に関わる人財を3タイプに分けた上で、目的別に3つの人財プログラムを実施

次世代せとうち プロデューサープログラム

地域共生 推進プレイヤープログラム

せとうち ローカル起業家塾

目的

せとうちエリアで既に活躍する
キーパーソンがつながる

地域の仕事をする企業人が
(企業・銀行・自治体 等)
地域や企業同士とつながる

地域で起業している・したい人
がビジネススキルを習得する
※2025年度は岡山編

実施
内容

2025年7月～翌3月
全9回(座学5回・フィールドワーク4回)
※基本同日開催、地域共生プレイヤーのみ別途座学1回あり

2025年9月～翌1月
全7回
(座学5回・フィールドワーク2回)

様子



Appendix | 參考資料

せとうちパレットプロジェクト・アドバイザー

地域プロデューサー

ふるた ひま
古田 秘馬 さん

株式会社umari 代表取締役

- 香川県三豊市における地方創生成功モデルの立役者。
- 東京・丸の内「丸の内朝大学」などの数多くの地域プロデュース、企業ブランディングなどを手がける。
- 農業実験レストラン「六本木農園」、讃岐うどん文化を伝える宿「UDON HOUSE」など、地域での“共助”をキーワードに、都市と地域、日本と海外を繋ぐ仕組みづくりを行う。



▲株式会社umari 古田 秘馬さん